



# 人の輪と集落の和

平成27年度事業報告書 平成28年度事業計画書



## 目 次

○ ごあいさつ	1
○ 第17回通常総会次第	2
○ 第17回通常総会提出議案	3
○ 平成27年度事業報告書	
部門別事業報告	4～13
貸借対照表	14
損益計算書	15～17
平成27年度剰余金処分案	18
附属明細書	19～20
監査報告書	21
○ 平成28年度事業計画書	22～29
○ 議案資料	30
○ 酒人圃場作付計画	31
○ 組織図	32
○ 組合員名簿	33

## 組合員のみなさまへ

第17回通常総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。  
昨年の通常総会において理事に選任され、後の理事会において代表理事という重責を預かることとなりました。微力ながら理事をはじめ組合員の皆様のご協力により、無事1年間を過ごすことができました。この1年間の結果につきましては、後ほど担当の理事より報告します。

農業情勢につきましては、世界的な株安、それに円高と不安定な状況におかれ、明るい将来が見えづらい時だと思われまふ。とりわけ、皆さんもご承知の通りTPPが大筋合意され、国会の批准を経て発効となります。酒人ふあ〜むにとってもTPPの波にのまれることは必定と思われまふ。それにより、生産資材の高騰が予想され、今もコストダウンには努めておりますが、尚一層の努力が必要と思ひます。TPPが発効すれば米価は下がり、酒人ふあ〜むの経営を圧迫することとなり、国の補助金、助成金に頼らざるをえまふせん。農水省は、予算に支障を来さないよう政府全体で責任を持って毎年の予算編成過程で確保するものとする、と言いきってまふるので、それに期待したいと思ひます。

次に、今酒人ふあ〜むが取り組みを始めています「有機JAS」認証の取得に向けた活動です。この認証を取得することにより、食の安全・安心とともに酒人米のブランド化に一步でも近づけたら幸いかと思ひます。

最後になりますが、今日お集まりの組合員の皆様には、酒人ふあ〜むに対しまして、多大なご指導ご鞭撻を賜り有難うござひます。今後、我々理事はもとより役員が一丸となり組織を守っていきまふるので、組合員の皆様のなおい層のご協力をお願いしまふす。

平成28年2月28日

## 人は、人の為にならずして、人にあらず

農事組合法人 酒人ふあ〜む

代表理事

## 第17回通常総会次第

と き：平成28年2月28日（日）

午後1時30分より

ところ：酒人公民館 1階大広間

1. 開会のことば
2. 代表理事あいさつ
3. 来賓ご祝辞

（ 休 憩 ）

4. 総会成立宣言
5. 議長の選任
6. 書記の指名
7. 議事
8. 閉会のことば

議長氏名	
------	--

議事録署名人	議長および出席理事
--------	-----------

組合員数	55人	出席人数	人
------	-----	------	---

## 第17回通常総会提出議案

- 第1号議案** 平成27年度事業報告について  
平成27年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、  
剰余金処分案及び附属明細書の承認について
- 第2号議案** 平成28年度事業計画の承認について
- 第3号議案** 役員報酬（手当）枠の承認について

**附帯決議** この総会において決議した事項のうち、行政庁に提出する書類で補正・変更を必要とする場合は、その趣旨に反しない範囲内において、その変更を理事会に一任する。  
また、巻末の「組合員名簿」をもって「正組合員」として承認する。

以上のとおり上程いたします。

平成28年2月28日

農事組合法人 酒人ふあ～む  
代表理事

# 平成 27 年度事業報告書

## 部門別事業報告

### 生産部

#### 《 米 》



4月末から5月上旬にかけて好天に恵まれ、大豆後の水稲作付であることから、水回しと代かき作業に時間を要したものの、植え付けは順調に進みました。植え付け後の好天に加え、平均気温も平年以上となり、初期生育は良好でした。6月末から7月初旬にかけての分けつ期には、低温と日照不足に見舞われ、

早生品種においては、十分な株数を確保できませんでした。

収穫期においては、早生品種では、前線の停滞や台風の接近により収穫作業が大幅に遅れましたが、9月中旬からは天候も安定し、好天が続いたことから中手・晩生品種においては、順調に収穫作業を進めることができました。

なお、乾燥施設の規模に応じて作付品種を分散したことや、初めて取り組んだ飼料用米により、収穫量に大きな影響を及ぼすことはありませんでした。

#### 《 麦 》

水稲収穫後のブラウ耕による圃場の排水対策をおこなったことから、初期生育は順調に進み、5月中旬から好天が続いたことで赤かび等の発生も見られず、収穫期も好天に恵まれ計画収量を確保できました。

#### 《 大豆 》

播種については、順調に進みましたが、7月16日の台風11号の影響から2haは播種が遅れ、初期生育不良から収量が減少しました。栽培管理で重要な中耕作業は、種子大豆については3回実施したことと、病虫害防除においても3回実施したことで、収量及び品質も前年を上回りました。しかし、一部の圃場では、多年草のほおずき等の雑草を抑えられず、収穫期の草取りに多大な労力を費やしました。

なお、種子大豆の選別作業では色彩選別機で検品後、すこやか・なごやか営農グループによる、機械に勝る選別目力で一等品に仕上げてください、種子大豆の計画収量を確保していただきました。



## 《 野菜 》

露地野菜については、8月末からの植え付けであることから活着促進のための水やりや除草作業、さらに適期病害虫の防除作業や適期施肥によるきめ細やかな生育管理により JA 花野果市や青果市場へ出荷していただきました。

ハウス野菜では、小松菜を中心に周年栽培をおこなう育苗ハウスの有効活用ができました。

菊においては、調整作業の時間軽減のために下葉取り機を導入し、露地・ハウス栽培を併せることで、年間の需要期に合わせ、酒人区内への販売や花野果市・青果市場へ出荷できるよう入念に栽培管理をし、主要品目として確立していただきました。



## 《 和牛飼料用稲わら 》



耕畜連携事業(JA 稲わら生産供給組合)による、水稲収穫後の稲わら出荷は、早生品種収穫期の8月下旬から台風による降雨と日照不足により調整・収集が一部の圃場しかできませんでした。しかし、9月中旬からの好天に恵まれたことから、中手・晩生品種においては集荷作業が計画どおり実施できました。

なお、本年に導入したトラクターに装着するリヤフォークにより、軽トラックが進出できないような圃場でも梱包稲わらを収集・搬出ができたことで、労務時間の縮減と計画出荷量の確保ができました。

## 《 労務管理 》

農道や畦畔の草刈り作業は、区民総出の作業やトラクターに装着したハンマーモアアでの除草作業により、労務時間の軽減がはかれたものの、年間を通して3回から4回の草刈り作業に労力(約800時間)を投下いたしました。

小麦の栽培においては、機械化により省力化がはかれています。収穫前の赤かび病の防除作業が動力散布機による手作業での液材散布をおこなうことから計画を上回りました。

大豆の栽培においても、機械化により省力化がはかれています。一部の圃場で雑草の撤去に時間を要しました。また、生育期の天候不順から防除作業が十分実施できず虫食いや紫斑病等の発生がみられたことから、選別作業に時間を要しました。

## [平成27年度 生産実績]

### 1. 穀類生産実績

※ 面積は台帳面積

水 稲	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
うるち玄米	1934.9	98,700	1,645.0	8.5	1776.9	83,700	1,395	7.9
もち(羽二重)玄米	236.7	11,340	189.0	8.0	236.7	9,300	155	6.6
合 計	2,171.6	110,040	1,834.0	8.4	2013.6	93,000	1,550	7.4

小 麦	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反
農林61号	1,906.6	62,880	1,048	5.5	1,906.6	73,206	1,220	6.4
合 計	1,906.6	62,880	1,048	5.5	1,906.6	73,206	1,220	6.4

大 豆	計 画				実 績				
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量			
		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反		収量 (kg)	俵 (60kg)	俵/反	
ふくゆたか	種子	1,216.7	21,900	365	3.0	1,216.7	18,420	307	2.5
	一般	796.5	16,680	278	3.5	796.5	12,000	200	3.0
合 計	2,013.2	38,580	643		2,013.2	30,420	507		

### 2. 野菜等生産実績

露 地	計 画				実 績			
	栽培面積 (a)	生産量			栽培面積 (a)	生産量		
		収量 (kg)	箱・kg	箱/反		収量 (kg)	箱・kg	箱kg/反
ブロッコリー	30.0	1,500	500箱	166箱	30.0		357箱	119箱
白 菜	30.0	15,000	1,000箱	333箱	30.0	12,500	833箱	4,170kg
キャベツ	30.0	12,000	60コンテナ	20コンテナ	30.0	27,411	137コンテナ	9,137kg
いちじく	23.6		4,200パック	1,800パック	23.6		977パック	41パック
白ねぎ	30.0	6,000	600箱	200箱	30.0	4,060	358箱	119箱
下田なす	2.0				2.0	233	1,581袋	
小 菊	5.0		5,000束	10,000束	4.0		3,621束	
小 松 菜	20.0	2,600	13,000袋	6,500袋	15.0	1,859	9,296袋	
ピーマン					2.0		979袋	
くん炭							146袋	

※実績数値については、出荷日ベースでの生産量を上げています。



### 3. 和牛飼料用稲わら生産実績（JA稲わら生産供給組合）

稲わら	計 画				実 績			
	採集 面積 (a)	生産量			採集 面積 (a)	生産量		
		収集量 (kg)	梱包 (7kg)	梱包/反		収集量 (kg)	梱包	梱包/反
飼料用稲わら	1,200	33,600	4,800	40	1,250	37,276	5,272	42
合 計	1,200	33,600	4,800	40	1,250	37,276	5,272	42

実績…パレットによる重量出荷

## [労 務]

### 労務管理実績表

（単位：時間）

	計画	実 績					計画比 (%)	
		役員・OP	すこやかG	なごやかG	その他	合計		
穀類	水 稲 ( 8品種 )	2,520	2,320	181			2,501	99.2%
	稲わら生産収集	420	323				323	76.8%
	小 麦 (農林61号)	700	874	17			890	127.1%
	大 豆 (種子・一般食糧)	2,940	1,327	3,887			5,214	177.3%
	計	6,580	4,843	4,085	0	0	8,927	135.7%
野菜	野菜 果樹	6,300	1,326	2,908	1,745		7,226	114.7%
	花卉				1,248			
	計	6,300	1,385	2,908	2,993		7,226	114.7%
共 通 (営業・事務・機械施設管理)		1,120	919	27			945	84.4%
合 計		14,000	7,146	7,019	2,993	0	17,098	122.1%

※ 27年度(1~12月)に投下した時間実績

## 営 業 部

平成27年度におきましては、米作は昨年同様に米価が低迷し、厳しい年になりました。給食弁当事業の大手、(株)一番との取引は増えましたが、他のルートでは苦戦を強いられました。また、区内における飯米の受注に関しまして減少傾向は続いております。野菜におきましては、イチジクや白菜は苦戦しましたが、ブロッコリー、キャベツ、小松菜、小菊などは増収となりました。

今後とも各グループや生産部と連携を組み、増収を目指してまいります。

### ①穀類市場（マーケット）別実績

水 稻		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	うるち玄米	985	10,000	9,850	803	8,214	6,596	67%
	もち(羽二重)玄米	169	14,000	2,370	150	14,500	2,175	92%
	過年度精算						2,156	
	小 計	1,154		12,220	953		10,927	89%
直 販	うるち玄米	660	15,500	10,230	602	15,405	9,876	97%
	もち(羽二重)玄米	20	20,000	400	5	23,800	119	30%
	小 計	680		10,630	607		9,995	94%
合 計		1,834		22,850	1,560		20,922	92%

小 麦 農林61号		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販		1,048	1,700	1,780	1,220	1,246	1,520	85%
過年度精算							449	
合 計		1,048		1,780	1,220		1,969	111%

大 豆 ふくゆたか		計 画			実 績			
		出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	出荷量(俵)	単価(円/俵)	販売高(千円)	対比(%)
業 販	種 子 用	365	27,000	9,860	307	27,850	8,550	87%
	食 糧 用	278	3,000	830	200	2,300	460	55%
	過年度精算						4,160	
	小 計	643		10,690	507		13,170	123%
直 販	種 子 用							
	食 糧 用							
	小 計							
合 計		643		10,690	507		13,170	123%

②野菜栽培形態別販売実績

野菜	計 画			実 績				
	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	出荷量	単価 (円)	販売高 (千円)	対比 (%)	
露 地	ブロッコリー	500箱	1,600	800	357箱		732	92%
	白菜	1,000箱	800	800	833箱		655	82%
	キャベツ	60コンテナ	1,120	672	137コンテナ		1,490	222%
	いちじく	4,200パック	300	1,260	977パック		415	33%
	白ネギ	600箱	2,400	1,440	358箱		723	50%
	下田なす				1,581袋		265	
	小菊	5,000束	240	1,200	2,741束		770	64%
	その他			988			204	21%
	小 計			7,160			5,254	73%
ハ ウ ス	小松菜	13,000袋	80	1,040	9,296袋		918	88%
	くん炭				146袋		58	
	小菊				880束		246	
	ピーマン				979袋		280	
	小 計			1,040			1,502	144%
合 計			8,200			6,756	82%	

野菜市場（マーケット）別販売実績

品 目	業 販				直 販				合 計	
	大阪・京都市場出荷		学校給食・平和堂JA契約		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (一)	販売高 (千円)
	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	2,317	193	141	185	2,002	264		90	357箱	732
白 菜	553	489			536	70		96	833箱	655
キャベツ	26,711	1,359			661	80		51	137コンテナ	1,490
いちじく	452	123			525	210		82	977パック	415
白ネギ	3,637	364			777	91		268	358箱	723
小松菜	2,940	239	2,067	144	4,289	478		57	9,296袋	918
くんたん					146	58			146袋	58
下田なす	1,021	127			560	128		10	1,581	265
小菊	703	74			2,918	662		280		1,016
その他		474				10				484
合 計		3,442		329		2,051		934		6,756

※業販＝JA・市場等への業者を通じた販売（学校給食含む）

※直販＝直売所、ネット等を通じた直接販売

③和牛飼料用稲わら販売実績（JA稲わら生産供給組合）

稲 わ ら	業 販		出荷量 (kg)	※出荷単価 (円/kg)	販売高 (円)
	飼料用 稲わら	配 達	37,276	50	1,863,800
		引 取			
合 計		37,276		1,863,800	
売上合計					1,863,800

実績・パレットによる重量出荷

# 機械施設部

酒人ふぁ～むが法人化されて10年以上経ち、その都度、補助事業を活用して機械の導入をしてきましたが、経年劣化による機械の更新が大きな課題となっています。その中でもトラクターと田植機の更新が近々の課題でした。そうした中「平成27年度経営体育成支援事業」の募集があり、トラクターと田植機を申請し、9月に補助金交付決定通知をいただくことができました。これは、ひとつには『酒人ふぁ～む』のネームバリューがあるからだ、と思います。機械は2月に導入予定ですので、従来の機械と併せてこれらの機械も大切に使っていきます。

オペレーターによる農業機械の操作技術については、オペレーターの出役により徐々に向上してきていますが、機械の取り扱いにおいては、「自分の機械である」という意識で、大切に取り扱い頂きたいと思います。

今後も、更新の時期が近づいている機械が増えてきている為、補助事業の動向を見ながら、資金面も含め企画管理部と調整していきます。

## ①「平成27年度経営体育成支援事業」による機械導入（税込）

物 件	台	取得額	交付助成金	借入額
クボタ田植機 EP8D-FR	1	3,520,000	978,000	2,542,000
ヤンマートラクター EG76YUBQH2	1	6,966,000	1,934,000	5,032,000

## ②自己資金による購入（税込）

物 件	台	取得額	自己資金
軽ダンプ	1	1,160,000	1,160,000
花用下葉取り機	1	320,000	320,000
リヤリフト RL501	1	756,000	756,000



## 企画管理部

### 【主に取り組んだ内容】

① ユニホーム更新

営農組合発足時からのユニホームは傷みがひどく、今年度新調しました。機能性を重視し、形もつなぎからセパレートとし、色もグリーンから、落ち着いたあるアースグリーンとしました。収穫感謝祭でお披露目させていただきました。



② 「出資金確認通知書」の発行・交付

組合員の皆様には、増資にご協力いただき誠にありがとうございました。増資後の出資口数を明らかにするために、「出資金確認通知書」を発行させていただきました。大切に保管頂きますようお願いいたします。

③ 有機 J A S 認証準備スタート

8月22日、高島市の「針江のんきいふあーむ」の石津氏を講師に迎え、役員研修会を実施しました。現在の無農薬・無化学肥料米栽培を発展させ、有機米栽培に挑戦してまいります。



④ 「収穫感謝祭 2015」開催

今年度も酒人区と共催し、「豚汁」「炊き込みご飯」「大抽選会」が好評で、「酒人市」も早期完売となり大盛況でした。ご来場ありがとうございました。



⑤ 視察受け入れ状況

年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	累計
先	8	17	9	22	46	104	134	82	75	74	50	50	47	34	33	31	816
人	247	403	267	408	918	1,760	2,494	1,439	1,336	974	736	928	880	611	591	495	14,487

これまでに、延 816 団体、14,487 人の方が来村されました。

⑥ 今年度の掲載記事

メディア	月 日	内 容
地域農業戦略指針 (滋賀県農政水産部)	平成 27 年 3 月	【優良事例】 園芸作物導入と年代別作業 グループ制による集落営農法人

【平成27年度来視】

月 日	来 視 先	内 容	人数
1/13		学術研究・調査	1
1/17		先進事例視察	19
1/26		調査	1
1/29		先進事例視察	34
2/9		先進事例視察	3
2/18		先進事例視察	14
2/25		先進事例視察	15
2/26		先進事例視察	11
2/27		先進事例視察	5
3/6		先進事例視察	44
3/10		先進事例視察	20
3/16		先進事例視察	20
3/19		先進事例視察	10
4/16		先進事例視察	22
6/14		先進事例視察	19
6/16		調査	1
6/22		調査	1
7/2		先進事例視察	12
7/22		先進事例視察	35
7/30		先進事例視察	15
9/8		先進事例視察	17
9/16		先進事例視察	23
9/24		先進事例視察	27
9/27		先進事例視察	17
10/29		先進事例視察	11
11/16		先進事例視察	25
11/20		先進事例視察	1
11/21		先進事例視察	17
11/22		先進事例視察	30
12/2		先進事例視察	16
12/3		先進事例視察	9
合 計	31先 (前年度比 - 2先)	495人 (前年度比-96人)	

【平成27年度講師派遣】

月 日	派遣先	主 催	内 容
1/6	京都市	食料・農業・農村政策審議会	意見交換会
11/10	京都市	新たな土地改良長期計画に関する懇談会 ※1	地方懇談会

【平成27年度受講研修】

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1/12	新春経済講演会		講演

月 日	研 修	出 席 者	内 容
1/16	キャベツ出荷研修会		目合わせ会
1/19	法人連絡協議会役員会		役員会
1/21	農商工連携スタートアップ研修		研修
1/28	(有)エイエムシイ (三重県) 先進地視察		視察
2/ 4	政策公庫近畿地区農業経営者交流会		講演
	農商工連携スタートアップ研修		研修
2/ 6	水口納税協会セミナー		講演
2/ 7	甲賀地域農業者のつどい		講演 事例紹介
2/12	近畿地域農業経営力養成セミナー		講演
2/17	農商工連携スタートアップ研修		研修
2/18	花野果倶楽部		視察研修
2/27	春作業機械オペレーター研修会		研修
3/ 3	環境保全型農業直接支払交付金環境こだわり農産物認証説明会		説明会
3/ 5	J Aいちじく生産部会		研修
3/ 6	J Aこうか大規模稲作経営者部会		総会
3/10	小菊栽培研修会		研修会
3/18	花野果倶楽部		総会
3/19	担い手関連事業説明会		説明会
3/24	水口良質米研究会総会		総会
4/16	J Aいちじく生産部会		総会
4/17	J Aこうか花卉部会		総会
	大規模稲作経営者部会		役員会
4/30	甲賀市農業再生協議会		総会
6/15	J Aこうか花卉部会栽培技術研修会		研修会
6/23	J Aいちじく生産部会		現地研修会
6/26	種子大豆採取計画会議		会議
7/ 1	忍美青椒・忍玉西瓜現地研修会		研修
7/ 4	あぜみちモーニングスクール (稲作穂肥研修会)		現地研修会
7/13	滋賀県花き園芸協会きく部会		小菊現地研修
8/11	J Aこうか稲わら生産供給組合		総会
8/17	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		研修会
8/28	忍葱視察研修会		現地研修会
8/20	大規模稲作経営者部会		役員会
	秋作業機械オペレーター研修会		研修
8/21	滋賀県花き園芸協会きく部会		視察研修
9/25	J Aこうか花卉部会栽培技術研修会		研修会
9/29	(株)一番交流会		交流会
10/27	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		視察研修
12/ 7	甲賀地域集落営農法人連絡協議会		現地研修会
12/16	契約キャベツ出荷調整会議		会議
12/22	忍葱視察研修会		研修会
12/24	甲賀市農業再生協議会		会議

# 貸借対照表

農事組合法人酒人ふぁーむ

平成27年12月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	65,574,474	<b>【流動負債】</b>	14,728,363
現 金 ・ 預 金	32,219,199	未 払 金	13,674,423
売 掛 金	13,312,081	預 り 金	120,000
農 産 物	569,100	リ ー ス 債 務	748,440
貯 蔵 品	291,571	未 払 法 人 税	185,500
未 収 金	2,967,155	<b>【固定負債】</b>	55,733,813
仮 払 金	16,215,368	長 期 借 入 金	26,725,000
<b>【固定資産】</b>	43,176,859	長 期 リ ー ス 債 務	2,690,856
<b>【有形固定資産】</b>	41,955,683	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金	26,317,957
建 物	44,615,395	負債の部合計	70,462,176
構 築 物	5,096,432	純資産の部	
機 械 装 置	20,405,117	<b>【資本金】</b>	13,580,000
農 機 具	36,616,586	出 資 金	13,580,000
車 両 運 搬 具	4,725,400	<b>【利益剰余金】</b>	24,709,157
工 具 器 具 備 品	1,039,500	利 益 準 備 金	6,231,379
減 価 償 却 累 計 額	△78,626,190	繰 越 利 益 剰 余 金	18,477,778
土 地	2,844,363		
リ ー ス 資 産	5,239,080		
<b>【投資その他の資産】</b>	1,221,176	純資産の部合計	38,289,157
外 部 出 資 金	50,000	負債・純資産合計	108,751,333
差 入 保 証 金	14,670		
保 険 積 立 金	1,156,506		
資産の部合計	108,751,333		



# 損益計算書

農事組合法人酒人ふぁーむ

自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
経常損益の部		
【事業損益の部】		
【事業収益】		
【販売高】		
販 売 高	45,020,639	
奨 励 助 成 金	25,073,505	
販 売 高 合 計		70,094,144
【事業費用】		
【生産原価】		
当 期 商 品 仕 入 高	218,743	
期 首 農 産 物 棚 卸 高	141,050	
当 期 農 産 物 原 価	40,657,605	
合 計	41,017,398	
期 末 農 産 物 棚 卸 高	569,100	
事 業 原 価	40,448,298	40,448,298
事 業 総 利 益		29,645,846
【事業管理費】		
事 業 管 理 費 合 計	3,809,981	3,809,981
事 業 利 益		25,835,865
【事業外損益の部】		
【事業外収益】		
受 取 利 息 等	5,024	
雑 収 入	1,448,309	
事 業 外 収 益 合 計		1,453,333
【事業外費用】		
支 払 利 息	108,372	
事 業 外 費 用 合 計		108,372
経 常 利 益 金 額		27,180,826
【特別損益の部】		
【特別損失】		
農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 繰 入	8,146,729	
特 別 損 失 合 計		8,146,729
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		19,034,097
法 人 税 等		556,319
当 期 純 利 益 金 額		18,477,778

# 事業管理費内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額
役 員 報 酬	620,000
福 利 厚 生 費	493,244
教 育 ・ 研 修 費	159,840
旅 費 交 通 費	12,407
通 信 費	147,544
交 際 費	605,983
支 払 手 数 料	8,964
諸 会 費	112,000
水 道 光 熱 費	42,328
事 務 用 消 耗 品 費	223,093
修 繕 費	90,000
租 税 公 課	479,350
雑 費	399,428
税 務 顧 問 料	415,800
事 業 管 理 費 合 計	3,809,981

# 事業原価内訳書

農事組合法人酒人ふあーむ

自 平成27年 1月 1日 至 平成27年12月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
【総事業費用】		
【資材費】		
種 苗 費	2,634,886	
肥 料 費	5,456,789	
農 薬 費	3,972,871	
諸 材 料 費	771,698	
合 計	12,836,244	
資 材 費 合 計		12,836,244
【労務費】		
農 業 労 災 費	175,461	
労 務 費 合 計		175,461
【その他生産費】		
農 具 費	273,400	
作 業 委 託 料	3,934,995	
土 地 改 良 水 利 費	2,575,710	
動 力 光 熱 費	2,127,285	
修 繕 費	6,547,774	
荷 造 運 賃 送 費	706,604	
機 械 賃 借 料	30,067	
年 貢 料 ( 借 地 料 )	4,103,528	
農 業 共 済 費	1,888,123	
雑 費	89,895	
減 価 償 却 費	5,368,519	
そ の 他 生 産 費 合 計		27,645,900
当 期 事 業 原 価		40,657,605
合 計		40,657,605
当 期 農 産 物 原 価		40,657,605

# 剰余金処分案

(単位:円)

当期末処分剰余金の処分

項 目	金 額
当期末処分剰余金の処分	18,477,778
合 計	18,477,778
これを次のとおり処分する	
利益準備金	1,847,778
従事分量配当金	15,951,000
出資配当金	679,000
次期繰越剰余金	0

以上のとおり報告します。

農事組合法人酒人ふぁーむ

代 表 理 事  
理 事  
理 事  
理 事  
理 事  
理 事  
理 事

# 附属明細書

## 前期実績・事業計画実績対比

自 平成27年1月1日～至 平成27年12月31日

単位:千円

勘定科目	前期実績①		事業計画②		実績額③		前期対比③-①		予算対比③-②	
	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@	金額	@
[耕作面積]	換算418.1反		換算434.7反		換算418.1反					
		418.1		434.7		418.1		0		0
[事業収益]										
[販売高]										
販売高	43,114	99	45,330	104	45,020	104	1,906	4	-310	-1
奨励・助成金	22,849	53	18,800	43	25,074	58	2,225	5	6,274	14
販売高合計	65,963	152	64,130	148	70,094	161	4,131	10	5,964	14
[事業費用]										
[期首農産物棚卸]	175		141		141		-34		0	
[商品仕入高]	317		300		219		-98		-81	
[資材費]										
[生]種苗費	3,121	7	3,010	7	2,635	6	-486	-1	-375	-1
[生]肥料費	5,382	12	5,110	12	5,457	13	75	0	347	1
[生]農薬費	3,189	7	3,030	7	3,973	9	784	2	943	2
[生]諸材料費	737	2	680	2	772	2	35	0	92	0
生産資材費合計	12,429	29	11,830	27	12,837	30	408	1	1,007	2
[労務費]										
[生]農業労災費	301	1	300	1	175	0	-126	0	-125	0
労務費合計	301	1	300	1	175	0	-126	0	-125	0
[その他生産費]										
[生]動力光熱費	2,562	6	2,546	6	2,127	5	-435	-1	-419	-1
[生]農具費	473	1	100	0	273	1	-200	0	173	0
[生]修繕費	8,572	20	6,000	14	6,548	15	-2,024	-5	548	1
[生]機械賃借料	104	0	140	0	30	0	-74	0	-110	0
[生]年貢料(借地料)	5,167	12	5,300	12	4,104	9	-1,063	-2	-1,196	-3
[生]作業委託料	3,521	8	3,470	8	3,935	9	414	1	465	1
[生]土地改良水利費	2,468	6	2,468	6	2,576	6	108	0	108	0
[生]農業共済費	1,793	4	1,800	4	1,888	4	95	0	88	0
[生]荷造運賃送料	751	2	808	2	707	2	-44	0	-101	0
[生]雑費	82	0	85	0	90	0	8	0	5	0
[生]減価償却費	5,932	14	5,552	13	5,369	12	-563	-1	-183	0
その他生産費合計	31,425	72	28,269	65	27,647	64	-3,778	-9	-622	-1
[期末農産物棚卸]	141		150		569		428		-327	
事業費用合計	44,508	102	40,690	94	40,448	93	-4,060	-9	-242	-1
[事業総利益]	21,455	49	23,440	54	29,646	68	8,191	19	6,206	14
[生]労務費(従事分量配当)	15,362	35	14,500	33	15,951	37	589	1	1,451	3
[改め事業総利益]	6,092	14	8,940	21	13,695	32	7,603	17	4,755	11
[事業管理費]										
事業管理費	3,713	10	3,600	8	3,810	9	97	-1	210	0
[事業利益]	2,379	20	5,340	12	9,885	23	7,506	3	4,545	10
[事業外損益]	528	3	100		1,340	3	812	0	1,240	3
[経常利益]	2,908	22	5,440	13	11,225	26	8,317	4	5,785	13

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

前期事業実績対比

1/1 ~ 至 2014/12/31 単位:千円

勘定科目	米作	麦作	大豆	野菜・花卉・ハウス野菜	合計
[耕作面積]	9.8反	1.1反	19.0反	-5.0反	0.0反
[事業収益]					
農産物売上高	330	-38	1,542	431	2,265
その他売上高	604	0	0	-850	-359
奨励助成金	2,566	-773	-590	1,022	2,225
売上高合計	3,500	-811	952	603	4,132
事業原価				0	0
期首棚卸高	-34	0	0	0	-34
商品仕入高	0	0	0	-98	-98
[資材費]	0	0	0	0	0
[生]種苗費	-856	-8	-129	-133	-486
[生]肥料費	-115	258	0	-69	74
[生]農薬費	172	150	427	34	784
[生]諸材料費	10	3	47	-26	35
資材費合計	-789	404	345	-193	407
[労務費]				0	0
[生]労災保険費	-66	-29	-26	-5	-126
労務費合計	-66	-29	-26	-5	-126
[経費]				0	0
[生]動力光熱費	-214	-99	-73	-49	-435
[生]農具費	-225	-101	-97	223	-200
[生]農具修繕費	-1,171	-551	-466	164	-2,025
[生]機械賃借料	1	-8	-8	-59	-74
[生]年貢料(借地料)	-661	-209	-157	-36	-1,063
[生]作業委託料	89	-135	460	0	414
[生]農業水利費	29	25	49	4	107
[生]農業共済費	361	129	-358	-36	95
[生]荷造発送費	2	0	0	-46	-44
[生]雑費	9	-2	5	-4	8
[生]減価償却費	-379	-189	-130	134	-564
経費合計	-2,160	-1,142	-773	295	-3,781
期末棚卸	428	0	0	0	428
事業原価合計	-3,478	-767	-454	-1	-4,060
事業総利益	6,978	-44	1,406	605	8,192
[生]労務費	-191	243	735	-198	589
改め事業総利益	7,169	-287	671	803	7,603
[事業管理費]	69	22	59	-53	97
事業利益	7,100	-310	611	856	7,506
[事業外損益]	421	187	192	12	811
経常損益	7,520	-123	803	869	8,317

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

# 監 査 報 告 書

平成 28 年 2 月 20 日

農事組合法人酒人ふぁ～む  
代表理事 西村 清秋 様

監 事 ⑩

監 事 ⑩

私たち監事は、平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの第 14 期事業年度の理事の職務の遂行、事業報告書、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに附属明細書について監査しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、組合の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 事業報告書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 剰余金処分案は、法令及び定款に適合しており、組合財産の状況及びその他の事情に照らし、指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書については、特に指摘すべき事項は認められません。
- (5) 理事の職務遂行に関する不正の行為、又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以上

# 平成 28 年度事業計画書

## 生産部

### 基本方針

1. 農業を振興し、地域の食と緑と水を守ります。
2. こころ豊かで、住みよい地域づくりに貢献します。
3. 先代から受け継いだ、人と人とのつながりを大切にします。

#### (1) 栽培管理

- ①米、麦、大豆、野菜を中心とした水田をフル活用する作付け体系の確立
  - ・消費者が求める主食用米の生産
  - ・飼料用米の生産拡大による機械・施設の有効利用
  - ・和牛飼料用となる稲わらの品質向上と収量拡大
  - ・種子大豆の産地としての栽培技術の確立
  - ・圃場の特性に合った除草体系の確立
- ②低コストで環境に配慮した栽培管理
  - ・有機 JAS 認定作物の栽培技術の向上と作付け品種の拡大
  - ・雑草・病害虫の予察による効果的・迅速な適期作業
  - ・早めの畦畔草刈りで労力と作業時間の軽減

#### (2) 労務管理

- ①一億総活躍・生涯現役社会の実現に向けた取り組み
  - ・次世代の担い手との接点づくりと技術継承による多様な担い手の育成
  - ・大型農機による作業の効率化と手作業での丁寧な仕上げ作業
- ②勘と経験でおこなっていた作業手順をマニュアル化し、技術の蓄積と継承

### [事業計画]

#### 1. 穀類生産計画

水		栽培面積 (a)	10a 当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60 kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
稲	うるち玄米	1786.0	510	8.5	91,100	1,520
	もち(羽二重)玄米	236.7	480	8.0	11,400	190
	合計	2022.7	506	8.43	102,500	1,710



小 麦		栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)
	農林61号	1739.0	330	5.5	57,400	956
	合計	1739.0	330	5.5	57,400	956

大 豆		栽培面積 (a)	10a当り		生産量		
			収量 (kg)	俵 (60kg)	総収量 (kg)	出荷量 (俵)	
	ふくゆたか	種子用	1275.4	180	3.0	22,960	380
		食糧用	733.7	180	3.0	13,200	220
	合計	2009.1	180	3.0	36,160	600	

## 2. 野菜栽培形態別生産計画

露 地・ 花 弁・ ハウス	品目	栽培面積 (a)	10a当り		生産量	
			収量 (kg)	出荷量	総収量 (kg)	出荷量
	ブロッコリー	40.0	500	166箱	2,000	660箱
	白菜	30.0	5,000	333箱	1,500	1,000箱
	キャベツ	40.0	4,000	20コンテナ	16,000	80コンテナ
	いちじく	23.6		400パック		1,000パック
	ねぎ	50.0	2,000	200箱	10,000	1,000箱
	小菊	5.0		10,000束		5,000束
	小松菜	20.0		5,000袋		10,000袋
	たまねぎ	20.0		3,500kg		7,000kg

## 3. 和牛飼料用稲わら生産計画（JA稲わら生産供給組合）

稲 わ ら		採集面積 (a)	10a当り		生産量	
			収集量 (kg)	梱包 (7kg)	総収集量 (kg)	出荷量 (梱包)
	飼料用稲わら	1,500.0	280	40	42,000	6,000
	合計	1,500.0	280	40	42,000	6,000

#### 4. 作物別労務時間計画

(単位：時間)

	水 稻		小 麦	大 豆	野 菜 樹 果	花 卉	共 通	合 計
	栽培 ・収穫	稲わら 収集 ・搬送	栽培 ・収穫	栽培 ・収穫 ・選別	栽培 ・収穫 ・調整	栽培 ・収穫 ・調整	営業 ・事務・施 設・管理	
配分率	18%	3%	5%	23%	37%	7%	7%	100%
1月	40			1,200	430	10	110	1,790
2月	40			1,450	650	10	200	2,350
3月	60		50	300	340	10	80	840
4月	300				210	50	70	630
5月	650		150		320	50	50	1,220
6月	150		180	40	580	100	60	1,110
上期	1,240	-	380	2,990	2,530	230	570	7,940
7月	140			160	350	100	60	810
8月	170	50		50	430	200	60	960
9月	450	270		40	650	150	60	1,620
10月	350	100	100	10	330	50	50	990
11月	50		200	40	200	50	70	610
12月	70		20	400	350	200	130	1,170
下期	1,230	420	320	700	2,310	750	430	6,160
合 計	2,470	420	700	3,690	4,840	980	1,000	14,100



# 営 業 部

TPPへの参加が決まり、これからの農業戦略が問われ、また国内における農業環境は厳しくなっております。その中で、食の安全、安心を消費者の皆様へ訴えつつ、酒人製品の販売を最重点に営業活動を行ってまいります。

## [重点方針]

- 1 酒人米の販売強化
  - 酒人区内の飯用米
  - ルートセールスの強化
- 2 酒人特産品の企画販売

## [事業計画]

- 1 低温倉庫、精米設備及び直売所の計画立案  
白米販売の充実（宅配等のルート開拓）
- 2 年間販売につなげる製品の開発（各部と連携）
- 3 6次産業化に向けた計画立案

### ① 28年度穀類市場（マーケット）別販売計画

	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	水	うるち玄米		870	8,160
もち(羽二重)玄米		170	14,200	2,400	
小 計		1,040		9,500	
稲	直 販		販売量 (俵)	販売単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	うるち玄米		650	16,000	10,400
	もち(羽二重)玄米		20	20,000	400
	小 計		670		10,800
合 計		1,710		20,300	

	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)
	小麦	農林61号		956	1,570
合 計		956		1,500	

	業 販		出荷量 (俵)	出荷単価 (円/俵)	販売高 (千円)	
	大豆	種子用		380	27,600	10,500
		食糧用		220	2,270	500
小 計		600		11,000		

② 28年度野菜栽培形態別販売計画

	品 目	出 荷 量	売価単価 (円)	販売高 (千円)	
	露 地	ブロッコリー	660箱	1,515	1,000
白菜		1,000箱	800	800	
キャベツ		80コンテナ	11,250	900	
いちじく		1,000パック	400	400	
白ネギ		1,000箱	2,000	2,000	
小菊		5,000束	250	1,250	
たまねぎ		7,000kg	143	1,000	
小 計				7,350	
ハ ウ ス	小松菜	10,000袋	100	1,000	
	その他			650	
	小 計				1,650
	合 計				9,000

野菜市場（マーケット）別販売計画

品 目	業 販				直 販				合 計	
	大津・京都市場出荷		学校給食・平和堂JA契約		花野果市JA直売所		イベント・直売		数量 (一)	販売高 (千円)
	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (束・箱)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)	数量 (袋・束・個)	販売高 (千円)		
ブロッコリー	320	350			300	600	40	50	660箱	1,000
白 菜	750	600			125	100	125	100	1,000箱	800
キャベツ	730	750			5	100	2	50	80コンテナ	900
いちじく	300	100			450	200	250	100	1,000パック	400
白ネギ	500	1,000	340	600	120	300	40	100	1,000箱	2,000
小松菜	3,000	250	1,500	100	5,000	600	500	50	10,000袋	1,000
小 菊	800	150			3,000	800	1,200	300	5,000束	1,250
たまねぎ	5,700	800			1,000	150	300	50	7,000kg	1,000
その他						550		100		650
合 計		4,000		700		3,400		900		9,000

※業販＝JA・市場等への業者を通じた販売（学校給食含む）

直販＝直売所、ネット等を通じた直接販売

③和牛飼料用稲わら販売計画（JA稲わら生産供給組合）

稲 わ ら	業 販	出荷量 (梱包)	※出荷単価 (円/梱包)	販売高 (千円)
	飼料用稲わら		6,000	350
合 計		6,000		2,100

※1 梱包＝7kgとした場合

## 機械施設部

安全・安心・新鮮な農産物の販売を提供するための機械及び施設の設備投資を、各部と連携して進めていきます。

また、費用対効果を考慮した上で、「酒人ふぁ～む」の現状にあった投資計画の検討を行い、経費を削減した低コスト農業に努めます。

### [重点方針]

1. 保有資産の管理
2. 更新機械に対する検討

### [事業計画]

1. 維持コストと更新コストを考えた投資計画と経費の圧縮
2. 機械取り扱いに対する意識改革

### 投資計画

(単位：円)

年度	投資予定資産	取得予定額
28年度	①丸山 ハイクリブーム BSA650CEG6-1	6,372,000
	②畝間散布装置 5連 (①の部品)	340,200
	③ヤンマー 大豆選別選粒機 YBS1000GME	1,743,120
	④スガノ ロータ溝掘り機 DR280	787,320
合計		9,242,640

- ・①～④は「担い手確保・経営強化支援事業」又は「農機具等リース応援事業」に申請中で事業採択可否は未定です。

## 企画管理部

### [重点方針]

1. 「管理」から「企画」・「実践」に重心をおいた部内運営
2. 農業自由化への対応～安定した経営基盤の確立
3. 6次産業化への対応～当地にあった仕組みづくり
4. 魅力のある、働きがいのある組織体制づくり

### [具体的実施内容]

#### 1. 長期的に持続可能な農事組合体制の構築

世代別組織による分業体制を基本としつつ、グループ間の協力体制を図り、作業の効率化を図ります。引き続き酒人の農業を守りつつ、持続可能な担い手体制の構築を長期的に検討します。

- ① 将来を見据えた事業内容と効率的な組織体制の改善を推進します。
- ② データを生かした原価管理および収益管理の徹底を図ります。
- ③ 販売ルール・支払ルールを明確化し、厳格な会計処理を維持します。
- ④ 営農組織に応じた賃金制度について見直しを行います。
- ⑤ 次世代の担い手が参加しやすい環境づくりを行い、持続可能な組織をつくらせます。

#### 2. 付加価値の高い商品開発にチャレンジ

今年度は、完全有機・無化学肥料米のJAS（日本農林規格協会）の有機農産物（有機JAS）の認定取得を目指し、高付加価値商品としての地域ブランド化を図り、販路拡大を目指したいと考えております。

#### 3. 地域農業者との連携による大規模化の研究

- ① 生産物の専門化と大規模生産による高品質・低コスト生産の実現。
- ② 機械施設の共同利用および原材料・資材の共同仕入によるコスト削減。
- ③ 地域農業者との情報・意見交換の場を増やし、将来ビジョンを検討。

#### 4. 農産物の販売方式の改善検討

注文予約を基調としたデリバリーサービスを行い、高齢者家庭への配達サービスを実施できる体制を構築し、販売量拡大に努めます。

また、当組合が今、何を収穫しているのかわかるよう、無人販売店舗でのピーアールをしてまいります。

#### 5. 周辺環境の整備

- ① 事務所・倉庫前通路の防塵化工事を実施します。
- ② 事務所トイレの単独簡易浄化設備化を検討します。

平成28年度事業計画明細表

自 2016/1/1 ~ 至 2016/12/31 単位:千円

勘定科目	米作		麦作		大豆		野菜・ハウス野菜		花卉		合計
	202.3反		173.9反		200.9反		22.0反				
[耕作面積]											425.2反
[事業収益]											
農産物売上高	20,300	100	1,500	9	11,000	55	7,750	352	1,250		41,800
その他売上高	2,200	11	0	0	0	0	0	0	0		2,200
奨励助成金	4,000	20	13,000	75	4,300	21	1,000	45	0		22,300
売上高合計	26,500	131	14,500	83	15,300	76	8,750	398	1,250		66,300
事業原価											
期首棚卸高	1,166		0		0		0		0		1,166
商品仕入高	0		0		0		250		0		250
[資材費]											
[生]種苗費	1,600	8	500	3	110	1	500	23	0		2,710
[生]肥料費	1,891	9	3,012	17	12	0	702	32	0		5,616
[生]農薬費	1,625	8	412	2	1,512	8	402	18	0		3,950
[生]諸材料費	400	2	0	0	50	0	350	16	0		800
資材費合計	5,516	27	3,923	23	1,683	8	1,954	89	0		13,076
[労務費]											
[生]労災保険費	113	1	52	0	52	0	9	0	0		225
労務費合計	113	1	52	0	52	0	9	0	0		225
[経費]											
[生]動力光熱費	950	5	437	3	437	2	76	3	20		1,920
[生]農具費	750	4	345	2	345	2	60	3	0		1,500
[生]農具修繕費	2,080	10	920	5	960	5	40	2	30		4,030
[生]機械賃借料	40	0	0	0	0	0	0	0	0		40
[生]年貢料(借地料)	2,050	10	943	0	943	5	164	0	0		4,100
[生]作業委託料	300	1	2,400	14	1,350	7	0	0	0		4,050
[生]農業水利費	1,290	6	590	0	590	3	110	5	0		2,580
[生]農業共済費	800	4	725	4	345	2	60	3	0		1,930
[生]荷造発送費	60	0	0	0	0	0	500	23	20		580
[生]雑費	70	0	53	0	43	0	54	2	20		240
[生]減価償却費	2,756	14	1,219	7	1,272	6	53	2	0		5,300
経費合計	11,146	55	7,632	44	6,285	31	1,117	51	90		26,270
期末棚卸	500		0		0		0		0		500
事業原価合計	17,440	86	11,607	67	8,020	40	3,330	140	90		40,487
事業総利益	9,060	45	2,893	17	7,280	36	5,420	246	1,160		25,813
[生]労務費	4,750	23	1,695	10	4,845	24	5,260	239	950		17,500
改め事業総利益	4,310	21	1,198	7	2,435	12	160	7	210		8,313
[事業管理費]	2,050	10	943	5	943	5	164	7	0		4,100
事業総利益	2,260	11	255	1	1,492	7	-4	-0	210		4,213
[事業外損益]	150	1	69	0	69	0	12	1	0		300
経常損益	2,410	12	324	2	1,561	8	8	0	210		4,513

(注)従事分量配当金は労務費として計算しています。

## 第3号議案

### 役員報酬（手当）枠の承認について

役員報酬（手当）枠は、理事、監事、相談役の昨年度における支給実績および事業実績等を考慮し、総額 万円を限度額として承認をお願いするものです。

なお、個々の役員報酬（手当）額の決定および支給方法などについては、理事会に一任頂くことに、併せて承認をお願い致します。

これまで役員手当は、従事分量配当の一部として支給してまいりましたが、税法上、経費とみなされ、従事分量配当とは分離した処理を求められています。

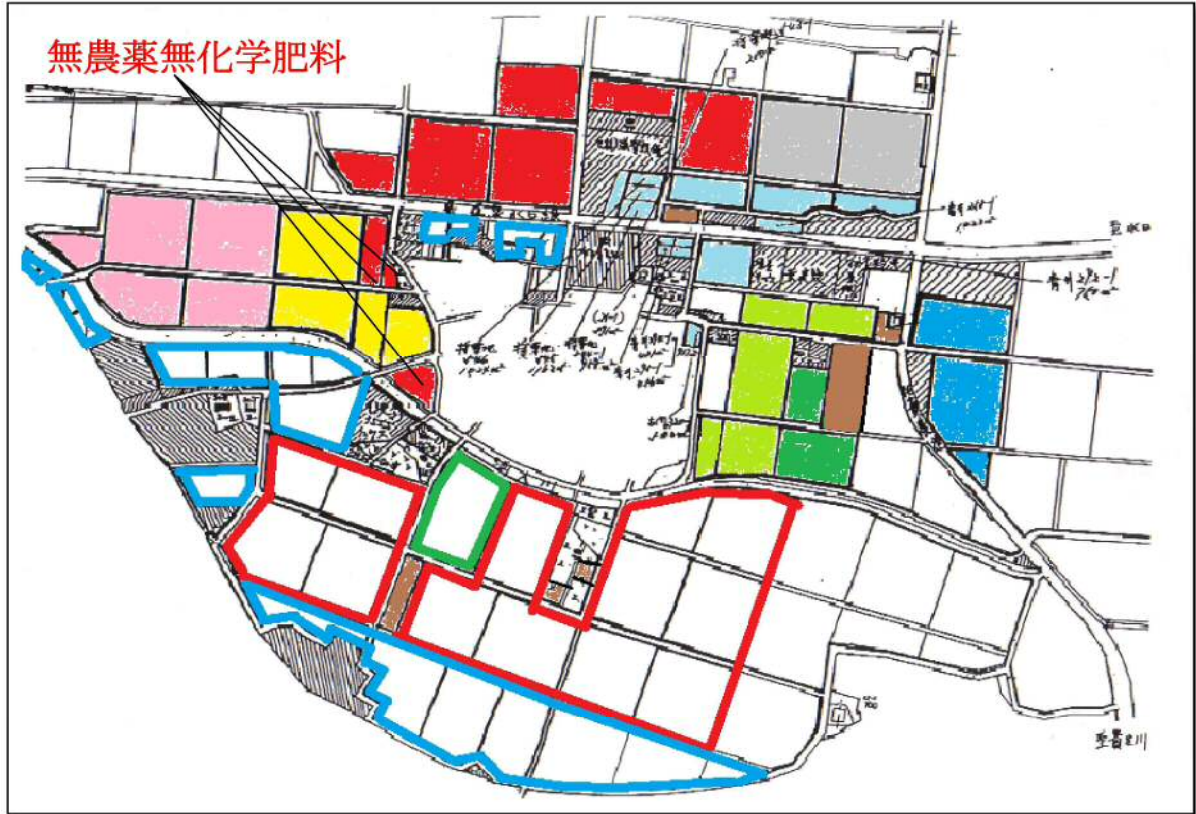
なお、役員報酬は、総会毎の承認が必要となるため、前回と同様に上程させていただくものです。

支給額については、組合員に対する従事分量配当の実績を考慮し、かつ責任手当としての性格とのバランスをとり、慎重に検討してまいり所存です。

なお、役員手当に対する所得税は、源泉徴収させていただくこととなりますので、予めご理解とご協力をお願い申し上げます。



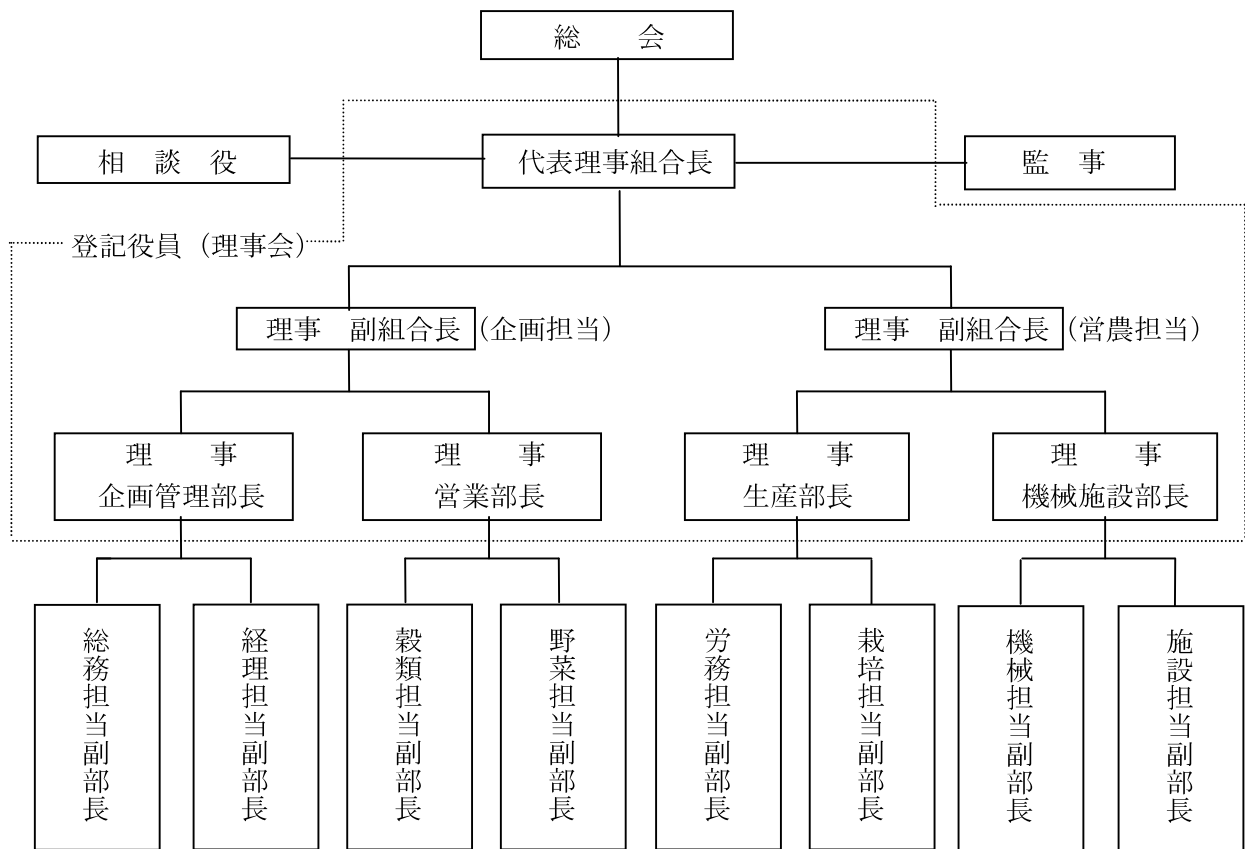
# 平成28年度 酒人圃場作付計画



みずかがみ	ミルクークイーン	ヒノヒカリ
日本晴	キヌヒカリ	コシヒカリ
きぬむすめ	羽二重もち	
小麦 → 種子大豆	小麦 → 一般大豆	小麦 → 野菜
野菜・果樹		

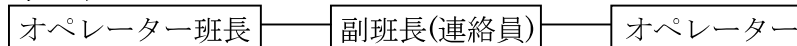
# 農事組合法人酒人ふぁ～む組織図

平成 28 年 2 月 28 日現在



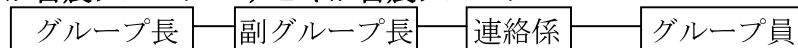
## 酒人ふぁ～む協力組織

### ① オペレーターグループ



☆酒人区内に居住し、集落営農の趣旨に賛同し、オペレーターとして出役が可能で営農意欲のあるグループ（登録制・60歳時単価見直し）。

### ② なごやか営農グループ・すこやか営農グループ



☆酒人区住民で、集落営農の趣旨に賛同し、組合の業務（作業）に出役頂ける、営農意欲のあるグループ。

※なごやか営農グループは、主にハウス野菜と花卉、すこやか営農グループは、主に露地野菜を担当していただいておりますが、現在では、両グループが協力して栽培・作業をされています。



農事組合法人 酒人ふあ〜む

2016/2/28